



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

おおぞら

<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/oozora/>

第227号

2026年7月1日発行

発行責任者 山本 貴道

編集者 木部 哲也

「おおぞらACPを通して」

1号館 漆戸 直子

おおぞら1号館は、あすか・すばるの2つのゾーンに分かれており、32名の入所者が生活しています。入所者の年齢は10〜60歳代と幅広く、横地分類A1からD2までの方が過ごされています。医療的ケアとして、人工呼吸器を使用している方が8名、経管栄養については25名が対象となります。日中の職員配置として、看護師は8名で、日々、利用者の全身状態をアセスメントし呼吸ケアや経管栄養などの看護実践をしています。生活支援員は10名で、利用者の日中の生活環境を整え活動を実施しています。成長発達が著しい小児期から身体機能が変化していく成人期や高齢期では個々のニーズは異なります。職員は日々のケアや活動の中で関わり、入所者一人一人の理解を深めています。そして個別性に合わせて多職種で入所者の生活を支えています。特に日々の生活に関わる看護師・生活

支援員は協働して、入所者の安心・安全な生活を提供するように努めています。

おおぞらでは、アドバンス・ケア・プランニング（以下、ACP）を実施しています。おおぞらACPとは、ご利用者様及びご家族が、施設スタッフや医療スタッフと共同して、現在の病気の（障害）の状態や治療の方針だけでなく、将来的な病気の進行や身体機能の低下する場合に備え、あらかじめ予測される医療やケアについて話し合うことである」と定義しました。ACPの事前準備として、医師・看護師・サージ管理責任者・生活支援員・栄養士・リハビリ等のそれぞれの持っている利用者の情報をカンファレンスで共有し合い、これからの生活について予測される問題点などを見出し、ACP面談当日を迎えています。

おおぞら1号館もここ数年で入所者の半数以上ACP面談を実施してまいりました。

した。コロナ禍であり面会制限もあったため、私にとってACP面談の時間は、利用者のご家族の方々とお会いできる貴重な時間となっていました。

利用者の近況を知っていただし、気にかかっていることや施設での生活で望んでいること、将来のことなどのご要望やご希望についてお聞かせいただきたいと思い実施してまいりました。ご家族の方々は、利用者の小さい頃のお話や好きな食べ物や音楽など、私をはじめACPに参加している多職種に伝えてくださいました。どのご家族の方々も、楽しそうにお話されている様子がとても印象的でした。

あるご家族の方から、「今まででは個別で話していたことが、多職種と話すことで顔の見える関係で安心できました」とのお言葉をいただきました。ACPを多職種で実施する意味が実感でき、ACPを実施していて良かったと思う瞬間でした。

おおぞらACPを通して、利用者やご家族と点ではなく線で繋がっていく重要性を改めて感じました。

皆様と一緒に今後もACP面談を実施してまいりたいと思います。

面会制限も5月に緩和されました。今まで以上に、顔の見える関係となれるように、スタッフ一同尽力してまいりたいと思っています。これからも、宜しくお願いします。



すばる利用者の活動

三ヶ田 侑以

2月下旬に利用者3名がドライブへ出かけ、河津桜を見に行きました。

Aさんは「ドライブに行きますか?」と声をかけられると表情を緩めて声を出しました。そして車に乗る時には楽しそうな表情をしていました。車内では真剣な表情で窓の外に顔や視線を向けており、すれ違う車の動きをじっと見ているようでした。信号待ちで車が止まった時、職員が「桜の木があそこにありますね、見えますか?」と遠くの山の方に見えた桜の木を指さして聞くと、Aさんもその



方を指さしながら「はい」と笑顔で声をあげました。Aさんも少し離れた山に咲く桜を見つけたようでした。また、桜並木の道を通っている時には左右に顔をよく動かして、桜を見ていて、桜の花びらが舞い散ると目を大きくしてじっと見ていました。

Bさんは日常生活でも周囲から聞こえる話し声をよく聞いていたり、散歩で外へ出掛けると顔を上げたり、周りを見るように顔を動かしたりしています。車内でも顔を左右によく動かして、窓の外の景色や動きを見ているようでした。そして走行中、少し窓を開けると動きを止めてにこやかな表情になりました。窓から入ってきた心地よい風を感じているようでした。また桜並木を通る時に職員が「たくさん咲いていますよ」と声をかけると顔を上げて□元を緩ませ、良い表情になりました。

Cさんも日常生活で周囲から聞こえる音や声をよく聞いて表情を緩めることがあります。車に乗る時にはリフトの操作音や機械音に

表情を緩めていました。車中では舗装のされていない道を通る時に、ガタガタと揺れる動きや音を聞いて表情を緩めていることがありました。職員の声かけや他利用者へのやりとりにも耳を傾け、□元を緩めて楽しそうな様子でした。また、窓から差し込む光には顔を上げて暖かい光を感じているようでした。

今回のドライブでは桜が咲いている景色を見たり流れていく風景や車の動きを見ながら車内での会話や音を楽しむことができました。暖かい季節になったらドライブ先で外に出たり散歩するような外出もできたらと考えています。



児童発達支援センターひかりの子卒園式 (2026年3月31日実施)

2025年度の卒園式を執り行い、卒園児1名の大切な門出をお祝いいたしました。今年度から在園児にも参加していただき、参加者全員でひかりの子ソングや卒園児に贈る歌の合唱をしました。卒園児のご家族から心温まる言葉もいただき、とてもなごやかであたたかい式となりました。



写真掲載の許可をいただいております。

入所 卒業式

2025年度の卒業式を3/18エレベーターホールにて行いました。小学部卒業1名、中学部卒業1名が、支援学校の先生とご家族に見守られての卒業となりました。



新人・異動職員紹介

2号館 杉山 茜

おおぞら2号館に配属になりました。これまででは助産師として母子とその家族へのサポートに長く携わってきました。おおぞらでは、利用者様一人一人に確実な医療の提供を出来るように、愛のある温かな手で看護提供が出来るように邁進したいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

2号館 白井 千紗子

4月から入職いたしました。

2号館 平野 きくえ

4月より、異動になりました。14年ほど、老人施設にて勤務していました。病院時代は、主に小児科病棟で勤務しており、呼吸器を持ち、家に帰る子ども達をケアさせていただきました。時代の流れで、変わっていることも多く日々勉強だと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

3号館 森上 友恵

4月よりおおぞら3号館に異動になりました。皆さんの仕事が無事に出来るように、利用者さんが安心して生活が出来るように頑張りたいと思います。色々ありますが、御指導のほど宜しくお願い致します。

生活支援課 佐藤 昌典

4月より聖隷浜松病院ひばり保育園より異動してきました。聖隷入職当初は介護の現場からはじまり、その後保育園での経験があったのですが、生活支援ということで、初心に戻り利用者さんに寄り添える支援ができるように努めています。

生活支援課 鈴木 はる美

千葉県浦安市の特別養護老人ホームから6年ぶりに地元浜松に戻って参りました。ご利用者様に寄り添い、安心して過ごしていただけるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

生活支援課 陳 香菜美

4月から入職しました。2号館はるかで勤務の隣香菜美です。初めての就職で

まだまだ分からないことが多いですが、利用者に寄り添った支援ができるように頑張っていきたいと思います！よろしくお願いたします。

生活支援課 内藤 利恵

4月より院内保育園から異動になりました。初めての経験ばかりで不慣れですが、一つひとつ学びながら頑張っていきたいと思っています。利用者さんに寄り添い安心して過ごしていただるように心がけていきたいです。よろしくお願いたします。

生活支援課 宮島 依里

横須賀愛光園から4/1付けでおおぞら療育センターに異動になりました。分からないことも多くあると思いますが、利用者様の生活や生きがいを感じられるように笑顔で楽しく頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

生活支援課 原田 梨湖

4月から入職しました。3号館あおば所属の原田梨湖です。現場に入ってみて、常に利用者さんの変化に気づき、臨機応変に動き対応している先輩方を見て、そんな職員になりたいと思います。

ました。利用者さんの安心安全を守りながら、生活のしやすい環境作りをできるように頑張ります！よろしくお願いたします。

生活支援課 金城 麻紀子

4月より異動になりました。以前は保育園に勤務していました。障害のある方と関わるのは初めてで慣れないことばかりですが、利用者の方に寄り添った支援ができるよう心掛けていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

生活支援課 稲垣 緒里

4月から入職しました。3号館ほとくに所属した稲垣緒里です。高校卒業したてでまだ分からないことばかりですが利用者さんに寄り添って安心して過ごしていただけるように頑張ります！よろしくお願いたします。

リハビリ 日比野 光里

4月より聖隷三方原病院より異動になりました。小児の領域は初めてで、皆様にはご不便をおかけするかと思います。1日でも早く一人で行えるように努めて参ります。よろしくお願いたします。

リレーエッセイ

待っていてくれる家族

あさひ 北野 のぞみ

我が家にはマルチーズと

ブーンドルを掛け合わせたミックス犬がいます。日中は子供たちが帰ってくるまで留守番。周りの音を聞き分け、家族の足音や車のエンジン音ではない足音や、エンジン音が聞こえるとすぐに教えてくれます。とても優秀な番犬として守ってくれています。

仕事を終え帰宅すると、何か話したげにニコニコと尻尾をふりながら見つめてくれます。でも「ただいま」と声はかけたものの、遊べずにいると「僕 まったよ。遊べるよ。」と言わんばかりのワンちゃんからの熱視線が始まります。目が合



えば、「何？何？」と言わんばかりに首をかしげるような動作をしアピール。「ごめんね。後でね。」と言いつつも、遊ばないでいると、ずっと私の行動を見守る様に視線は外しません。

「後でね。」と言っている間に、我が家の愛犬も4年目に突入します。愛犬との関わりに限らず、時間の過ぎる早さに焦りも感じる毎日ですが、後になって後悔しないようにしたいと思う毎日です。まずは今日帰ったら、一緒に散歩に行こうね。

旬の食材を使ったレシピ紹介



「なす」

なすの旬は7～9月です。なすには身体にこもった熱を冷やす働きがあるとされています。皮の色素であるアントシアニンには抗酸化作用があります。なすを選ぶときは濃い紫色で表面が滑らかで傷がなく、光沢のあるものを選びましょう。ヘタの切り口がみずみずしく、ガクのとげがしっかりしているものが新鮮です。今回はなすと豚肉を使った、調味料を入れレンジで加熱するだけの簡単レシピを紹介します。

材料 (2人分)

なす	2本 (160g)
豚肩ロース薄切り肉	120g
めんつゆ (2倍濃縮)	大さじ 1・1/3
A 水	大さじ 1・1/3
ごま油	小さじ 2
おろし生姜	適量
★飾り用	
葉ねぎ	適量
かつお節	適量
いりごま	適量

【なすと豚肉のレンジ蒸し】

作り方

- ① なすはへたをとり、乱切りにする。豚肉は幅3cmくらいに切る。
- ② 耐熱容器にAを入れて混ぜ、豚肉を加え調味料とからめる。その上になすをのせる。
- ③ ②にふんわりとラップをかけ、電子レンジで約7分加熱する。肉にしっかりと火が通ったらよく混ぜて器に盛る。
- ④ 好みでねぎ、かつお節、いりごまをのせる。

<栄養価 (1人当たり)>

エネルギー	たんぱく質	脂質	食塩相当量
199kcal	11.5g	15.6g	0.7g



栄養課 管理栄養士：
倉田・白井・青木

苦情解決委員会

2026年1月～2026年3月
期間中公表を希望される苦情は
ありませんでした。
(期間中、受付した苦情1件でした)

	2月	3月	4月
ショートステイ 利用者数 (延べ利用日数)	32人(221日)	36人(139日)	49人(249日)
放課後デイ 利用者数 (延べ利用日数)	19人(94日)	19人(108日)	18人(98日)
実習者数 (グループ数)	0人(0グループ)	2人(1グループ)	0人(0グループ)

